

事業コード	H20-建-継-27		区 分	国庫補助 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	砂防		班 名	傾斜地保全・砂防班 (tel) 018-860-2532
路線名等	焼間沢		担当課長名	神居 勝康
箇所名	湯沢市高松		担当者名	木内 昭
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	03	施策名	災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実
	指標コード	05	施策目標(指標)名	土砂災害危険箇所整備率

## 1. 事業の概要

事業期間	H11 ~ H22 (12年)		総事業費	6.8億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	砂防えん堤工2基、工事用道路工1,118m(管理用通路工)						
事業の立案に至る背景	<p>当渓流は湯沢市高松に位置し、流域面積1.26km<sup>2</sup>、保全対象として人家22戸、県道等を抱える土石流危険渓流である。近年の豪雨により、流域内では表層滑落型の斜面崩壊が多数発生しており、渓床には上流より流出した不安定土砂や流木が堆積し、今後の豪雨等により土石流が発生する兆候が見られ、危険性が高まっている。また、県道湯沢栗駒公園線は重要な観光道路であり不特定多数の利用者があるため、直接の保全対象以外にも被害や影響が及ぶ恐れがある。</p> <p>このため、砂防施設整備を以て土砂災害から地域住民の生命・財産を保全し、地域の安全・安心に資するべく事業を実施する。</p>						
事業目的	<p>【主たる目的】 砂防施設を整備することにより、流出土砂による被害を未然に防止し、土砂災害から高松地区、住民の生命・財産を守る。</p> <p>【保全対象】 人家22戸、公民館、耕地2.32ha、主要地方道湯沢栗駒公園線310m</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	672,000	672,000	0			
	経費内訳	工事費	512,500	512,500	0		
		用補費	24,000	24,000	0		
		その他	135,500	135,500	0		
	財源内訳	国庫補助	336,000	336,000	0		
		県債	302,400	302,400	0		
その他		0	0	0			
一般財源	33,600	33,600	0				
事業内容	えん堤工2基 工事用道路工 調査設計 用地補償	えん堤工2基 工事用道路工 調査設計 用地補償					
事業の進捗状況	<p>用地交渉が難航し計画より遅れが見られるが、残物件である1人(本人)は事業への協力について理解を示しており、解決次第速やかな進捗が図れる。</p> <p>砂防えん堤2基の内、1基が完成しており、残工事は下流側の1号えん堤工である。</p>						
事業推進上の課題	<p>難航している地権者については、事業の必要性を説明し、事業協力への理解を示していることから早期買収に努めたい。</p>						
関連する計画等	<p>「あきた21総合計画」第3期実施計画において、「災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実」の政策として位置づけられている。</p>						
情勢の変化及び長期継続の理由	<p>1号えん堤工の用地買収が難航(地権者1名)しているが、現在、本人も事業の必要性に理解を示しており、早急に関係地の買収を取得できるよう交渉を続けている。</p>						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率					
	指標式	概成箇所数 / 危険箇所数					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	23.4 %		データ等の出典	河川砂防課		
	実績値 b	22.7 %					
達成率 b/a	97.0 %		把握の時期	平成20年 3 月			

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	特になし			
	指摘事項への対応			
	特になし			

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	<p>下流域には人家22戸のほか、観光道路や避難路等として利用される県道湯沢栗駒公園線が保全対象として存在している。渓床には不安定土砂や流木が堆積していることから、今後の豪雨等により土石流が発生する危険性が高まっており、保全対象や観光客、避難住民等への甚大な被害が懸念される。</p> <p>このため地元からは砂防設備整備の要望が寄せられており、対策の必要性は高い。</p>	20点
緊 急 性	<p>平成17年にも豪雨による山腹崩壊が発生するなど、事業着手後においても不安定土砂が大量に発生している。これらが下流の人家や農地、県道に流出した場合、甚大な被害が懸念されることから、事業の早期完成が必要であり、土石流が発生する危険性は高く、えん堤工によるハード整備が効果的と判断される。</p>	10点
有 効 性	<p>砂防事業は、砂防法により都道府県知事が行うものとして位置づけられており、また、多数の人家や各公共施設を保全することができるため有効性が高い。</p> <p>代替案として、被害想定範囲内の人家及び公共施設の全戸移転等が考えられるが、実現性は極めて低い。</p>	10点
効 率 性	<p>本事業の費用対効果は2.42であり、効率性は高い。</p> <p>また、工種に応じて再生骨材を使用するなど、コスト縮減に対して積極的に取り組んでいる。</p>	23点
熟 度	<p>地元の自治体及び町内会は事業を望んでいるものの、えん堤の用地買収1人について難航し、事業は休止状態であり、事業の進捗に遅れが生じている。</p> <p>なお、事業の進捗に影響を及ぼしている用地関係者1名も事業の必要性は理解しており、今後も県として継続的に交渉を続けていくこととしている。</p>	10点
判 定	<p>ランク ( )</p> <p>一部の用地交渉について難航しているが、現地の状況を見れば、土砂災害から人命・財産を保全するには砂防事業が最適であると判断できるため、早期の事業実施が必要である。</p>	73点
総 合 評 価	<p>継続</p> <p>改善して継続</p> <p>見直し</p> <p>中止</p> <p>事業の継続は妥当である。</p>	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら事業を継続する。
--------------------------

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード(H20-建-継-27 )  
箇所名 (湯沢市高松 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計		20		
緊急性	危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
	斜面、渓流等の危険度	若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計		10		
有効性	災害発生時の影響	変化なしまたは増加している	10	10	
	保全対象数の変化	若干減少している(80%以上)	5		
		非常に減少している(80%未満)	0		
	計		10		
効率性	事業の効率性・進捗状況				
	費用便益分析(B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	3	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
コスト縮減計画	具体的なコスト縮減計画がある	10	10		
	具体的な計画はないが、検討中である	5			
	コスト縮減計画無し	0			
計		30	23		
熟度	地元の協力状況				
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している(100%以上)	10	5	
		概ね計画どおり進捗している(70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている(70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	5	用地、補償物件等
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
課題解決の見込みなし又は事業が停滞している		0			
計		30	10		
合計			100	73	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		